

究

おん キユウ
きわめる

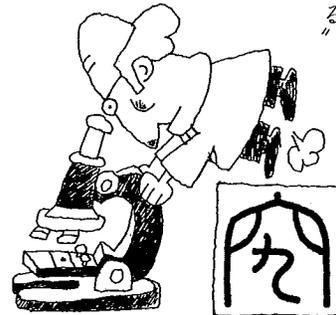
〔3年〕

7画
一、一、一、一、一、一、一
究

はねる

▼物事を徹底的に調べる。
究明：徹底的に調べて事実を明らかにすること。【例】真相究明
研究：物事を深く考え、調べ、明らかにすること。【用例】研究論文を発表する。
探究：物事の真の姿、在り方を探り見きわめること。【例】探究心
追究：どこまでも深く調べていつて明らかにしようとする。【用例】追究すること。【用例】究極の真理を追究する。

▼きわめる。きわまる。
究極：物事をつきつめていつて最後に行き着くところ。とどのつまり。
よみかた 究理・学究・考究・論究



六

おん ロク
む・むつ・むつつ・むい

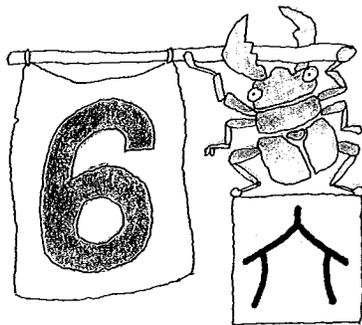
〔1年〕

4画
一、一、一、一
六

とめる

なりたち

家の形を表した字であるが、この字の発音が数のロクと同じであったため、この字を借りて数のロクを表した。こういう用法を仮借(かじ)という。十もこの仲間である。



いみじゆく

▼むつつ。

六法：六種の重要な法律。(憲法・刑法・民法・商法・刑事訴訟法・民事訴訟法の六つ)
【例】六法全書
六根：仏教で感覚や意識のものと成る六つのもの。(目・鼻・耳・舌・からだ・心)
【例】六根清浄(六根から起る欲望を断ち清浄になる。)
六道：仏教で、人間が生きていたときの行いによって死後に住む六つの世界。(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上。)

六腑(ろくぼ)：漢方という六つの内臓器官。(大腸・小腸・胃など。)
【例】五臓六腑

よみかた 六日

六歌仙：平安時代の六人の和歌の名人。(在原業平(特別の)小野小町(特別の)など。)

六夜

丸

おん ガン
まる・まるい・まるめる

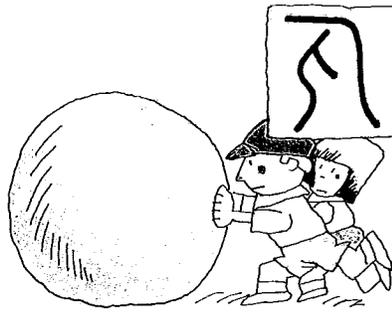
〔2年〕

3画
一、一、一
丸

はねる

▼丸い。丸いもの。たま。丸薬：練り合わせて丸めた薬。丸木：切り出したままの木。【例】丸木舟
丸窓：丸くくりぬかれた窓。弾丸：鉄砲で打ち出した。また、速いものたどえ。

▼全部。すつかり。
【例】弾丸ライナー
丸損：利益が全然なく、全部損ばかりになること。
丸裸：①服を全然着ていないさま。②身体その他(想は何も持っていないこと。【用例】火事で丸裸になる。
丸焼け：火事ですすつかり焼けてしまうこと。全焼。
一丸：みんながひとかたまりになるさま。【用例】一丸となつて難局に立ち向かう。



よみかた 丸顔・丸首・丸坊主・砲丸・本丸

夜

おん ヤ
よ・よる

〔2年〕

8画
一、一、一、一、一、一、一、一
夜

はらう

なりたち

腋(わき)の本字の夫と夕との形声字。夫はエキの発音を表し、意味は夕が表している。よるを表した字。夜の音は古くはエキで、腋や掖も皆エキである。



いみじゆく

▼よる。

深夜：よふけ。
終夜：夜通し。一晩中。【例】終夜営業
徹夜：夜通し起きていること。【例】徹夜作業
夜来：昨夜から。【用例】夜来の風雨。
夜学：夜に授業をする学校。
夜陰：夜の暗がり。【用例】夜陰に乗じて忍び込む。
夜話：夜するくつろいだ話。また、それを集めた本。転じて、肩の凝らない話(を集めた本)。【例】文学夜話

夜行：①夜中に歩くこと。【例】百鬼夜行 ②夜走る列車やバス。【例】夜行列車

よみかた 夜間・夜勤・夜警・夜分・夜風・夜露・夜昼・昨夜・昼夜・通夜

よみかた 夜間・夜勤・夜警・夜分・夜風・夜露・夜昼・昨夜・昼夜・通夜